

独国 AMPHOS GmbH 製品の取り扱いを開始

(株)日本レーザー(本社:東京都新宿区西早稲田 2-14-1、電話 03-5285-0861、社長:近藤宣之)は、独国 AMPHOS GmbH(アンフォス <http://www.amphos.de/>)と販売代理店契約を締結し、同社のハイパワー・超短パルスレーザーシステムの販売を 2014 年 4 月 1 日より開始した。

AMPHOS 社について

AMPHOS (“Amplifying Photonics”)は、ヨーロッパ最大の応用研究機関であるフラウンホーファー・レーザー技術研究所(ILT)とアーヘン工科大学からのスピンオフにより設立された、非常に高い平均出力を特徴とする超短パルスレーザーシステムの製造メーカーである。製品の中核をなす InnoSlab レーザーシステム技術をはじめ、オプトメカニカルデザインやサーモメカニカル・マウント技術における長い経験により、基礎研究にも産業用途にも有用な、信頼性、安定性、堅牢性に優れた超短パルスレーザーシステムを提供している。

AMPHOS ハイパワー・超短パルスレーザー

AMPHOS ハイパワー・超短パルスレーザーの核となる InnoSlab 増幅技術は、非常にシンプルでコンパクトなビームパスを特徴としている。センチメートル・スケールのミラー間距離をもつ、堅牢な擬似モノシリックパッケージである。擬似シングルパス構成による高効率システムで、CPA や再生増幅技術は一切用いていない。アクティブ媒体には高出力であると同時に安定性に優れた Yb:YAG を使用している。またシンプルなシステムのため、結晶の厚みを増すだけでビーム品質を損なうことなく出力パワーを増加できる高い拡張性も、本製品の特長の一つである。

標準モデルは 10W、200W、400W 出力の 3 種。パルス幅、繰返し周波数といったパルスパラメータはソフトウェアでコントロールできる。平均出力は最大 1000W まで製造可能。また繰返し周波数(100MHz まで、またはそれ以上)やパルスエネルギー(mJ レベルまで)の指定、周波数変換などのカスタマイズにも柔軟に対応する。アンプのみの提供も可能である。

コヒーレント EUV 発生、OPCPA、アト秒物理といった研究用途から、ガラスの切断、CFRP 加工、高圧タービン、LPVD 重合、マテリアル切除、放電加工との置き換え、光電池などの産業用途まで広く活用できる。

主な製品ラインナップ

モデル	AMPHOS 10	AMPHOS 200	AMPHOS 400
出力パワー	> 10W	> 200W	> 400W
波長	1030nm	1030nm	1030nm
パルス幅	< 1ps ... > 20ps	≤ 1ps ... 10ps	< 1ps ... 5ps
繰返し周波数	100 kHz ... 40 MHz	500 kHz ... 40 MHz	500 kHz ... 40 MHz
最大パルスエネルギー	> 10 μJ ... 100 μJ	> 300 μJ	> 300 μJ
ビーム品質	M ² < 1.3	M ² < 1.5	M ² < 1.5
ヘッド外形寸法	30.5x13.7x42.5 cm	55x18.5x55 cm	72x16.5x111 cm

以上

株式会社 日本レーザー

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-14-1 URL <http://www.japanlaser.co.jp/>

本製品についてのお問合せ 営業本部 副本部長 峯 宏行

電話 03-5285-0863 FAX 03-5285-0860 E-Mail: lase@japanlaser.co.jp

本リリースについてのお問合せ 販促業務部 部長 山田 昭正

電話 03-5285-0861 FAX 03-5285-0860 E-Mail: yamada@japanlaser.co.jp